

調達管理番号・案件名
26a00560_タイ国タイにおけるミャンマー難民の就労促進に関する情報収集・確認調査(一般競争入札(総合評価落札方式-ランプサム型))

質問と回答は以下のとおりです。

2026年8月12日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	0	配布資料5-1～5-3	配布資料5-1～5-3は現時点で政府内において検討段階の提案資料との理解でよい。また、本調査ではこれらの提案内容自体を再検証し、必要に応じて異なる改善案を提案することも想定されるか。	配付資料5-1～5-3は、タイ政府及び国連機関により作成された資料です。本調査では、これらを前提として調査・分析を実施することを想定しており、SOP自体の見直しや改善提案を求めるものではありません。なお、特記仕様書に記載の「SOP運用改善提案」は、SOPの現場レベルでの運用促進を目的としたものであり、現場行政官等が活用可能なマニュアル、申請書様式、研修プログラム等の整備・改善に係る提案を想定しています。
2	12	(4) 難民の就労定着及び自立促進の観点への留意	現在タイ国内で就労中の難民(Displaced Persons)へのヒアリングを実施する場合、DOE、UNHCR、CCSDPT等を通じた紹介・調整支援は想定されているか。	就労中の難民へのヒアリングに際しては、関係機関・団体による紹介や調整支援が可能な範囲で得られることを想定しています。ただし、支援内容や範囲を保証するものではありません。
3	12	「(3) 企業ニーズの多様性を踏まえた調査の実施」就労前研修に係る試行事業の検討	試行事業の規模は調査結果を踏まえて決定するとの理解であるが、実施可能性を検討する上で、JICAとして想定する対象人数の目安があればご教示願いたい。	過去の就労前研修・オリエンテーションは、1回につき、最大30人程度が参加、タイ語授業は、15人程度です。これらの情報を元に、調査結果を踏まえて決定ください。
4	14	2. 第1次現地調査(2)および(4)	難民キャンプ内における調査が予定されていますが、調査が2日以上必要な場合、キャンプ内で宿泊可能でしょうか。それともキャンプ外の近隣宿泊施設から毎日通うことになるのでしょうか。 また、難民キャンプにおける調査は、再委託も検討できるでしょうか。	難民キャンプ内での宿泊は認められていません。そのため、メソト市内等の宿泊施設から通っていただくことを想定しています。なお、難民キャンプにおける調査については、現地再委託することにより業務の効率、精度、質等が向上すると考えられる場合、理由を付して技術提案書に記載してください。

5	15	2.第一次現地調査（4）ヒアリング調査	難民を対象としたヒアリング調査の数はどの程度を想定していますか。	ヒアリング対象者数は特に設定していません。就労中の難民及び今後就労する可能性のある難民の双方を対象とし、性別、年齢、学歴、職歴、就労状況等の多様性を考慮したサンプル数を提案してください。
6	16	2.第一次現地調査(6)研修・ワークショップ	研修・ワークショップの実施が全3回と記載がありますが、第一回目の現地調査期間中のターク県メラキャンプの滞在中に研修・ワークショップを実施することを想定していますか。	ご理解のとおりです。第1次現地調査期間中にターク県において研修・ワークショップを実施することを想定しています。
7	18	5.整理作業(1)・(2)	最終報告書(案)とドラフト・ファイナル・レポートは同じものという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。本業務における「最終報告書(案)」は、「ドラフト・ファイナル・レポート」を指します。
8	21	1.(2) 業務量の目途	現地渡航について、想定される渡航期間があればご提示ください(趣旨として、第1次・2次渡航ともに実施項目が多く、想定を伺いたいものです)	業務量の目途については入札説明書記載の内容をご参照ください。詳細な渡航期間及び要員配置については、業務内容に応じて提案してください。
9	22	配布資料	配布資料1-2に関して、2本の動画のうち1本にのみ英語字幕がついていますが、英語版の提供は可能でしょうか。また、本件において視聴覚教材を作成する際は、英語字幕をつける必要はありますか。	「Job Application Guide Final」については英語字幕版はありません。入札説明書脚注の記載に誤りがありましたので本回答をもって訂正します(入札説明書の差し替えは行いません)。なお、当該教材のタイ語版については、アニメーション内に表示されるテキストが英語となっています。配付を希望される場合は、JICAガバナンス・平和構築部平和構築室(gpgpb@jica.go.jp)までご連絡ください。また、教材への英語サブタイトルの要否は、本調査で整理した改訂内容を踏まえて発注者と協議のうえ決定します。

10	22	(4)配布資料／公開資料等	配布資料1-1(p.25)によると、Pre-departure guidelineが作成されており、これに基づき研修が実施されています。当該ガイドラインは配布いただけますか。	Pre-departure Guidelineは外部団体が作成したものであり、タイ語版のみとなっています。また、作成後にSOPの改定が行われているため、現状と一致しない箇所が含まれる可能性があります。その上で配付を希望される場合は、JICAガバナンス・平和構築部平和構築室(gpgpb@jica.go.jp)までご連絡ください。
11	22	(4)配布資料／公開資料等	配布資料1-1のAnnexを配布いただけますか。	Annexにつきましては、面談相手の情報などがあるため、非公開としています。
12	22	(4)配布資料／公開資料等	脚注10に「配付資料1-2はカレン語とミャン語バージョンがあり、いずれも英語のサブタイトル入りです。」と記載があるのですが、「Job Application Guide Final Kar_D5」の方はサブタイトルがないようです。再生プレイヤーの問題かもしれませんが別バージョンもしくはスクリプトをご共有いただけますか。	質問番号9をご参照ください。
13	26	第3章3.(3)定額計上について	第4条2.(6)の行政官等を対象とする研修・ワークショップ(30名／回・全3回)、2.(7)および4.(4)の調査進捗・成果共有セミナー(バンコク・ターク県 計4回)、4.(5)の日系企業向け情報共有セミナーの実施について、入札金額に含める細目(会場借上費(食事込か否か)、通訳費、日当等)をご教示ください。 また、これらセミナー等実施関連費については、参加者数等の変動要因が大きいことから、定額計上の対象とすることをご検討いただけますでしょうか。	ご質問の研修・セミナー実施経費については、定額計上の対象としていません。 積算に当たっては、入札説明書記載の想定人数や日数などに基づき見積してください。対面想定としているものについては会場費も含めてください。食事代に関しては経理処理ガイドラインを参照してください。 なお、参加者に対する日当、宿泊費は想定していません。

以上